



第 8 号

昭和34年6月30日印刷
昭和34年7月5日発行

発行所
宇都宮市旭町1-3.427
宇都宮商工会議所
電話 2.622 3.072番
2,905

編集者兼
発行者 藤生善之助
印刷者 秋場榮吉
宇都宮市旭町2丁目
印刷所 三共印刷株式会社
電話 4.006・6.481番

会頭に上野小七氏

副会頭に保坂、小林、河合、高橋の四氏を選任

当会議所議員改選後初の臨時議員総会は六月十二日午後二時から当所第一会議室で開催、会頭以下全役員を選任を行い、会頭、副会頭及び専務理事は再選された。

第一回顔合せて新議員七〇名の内五五名(外委任状提出者一〇名)の出席があつた。

議事に入つて上野小七氏議長となり、第一号議案会頭、副会頭、専務理事、常議員、監事選任に関する件は先づ一五人の選考委員をあげて選考の結果会頭以下常議員、監事までの役員を後記の通り選任し満場異議なく可決確定した。

次いで第二号議案、顧問推せんに関する件は、会頭より後記の通り推せんし満場異議なく可決確定した。

その他第三号議案、定款第三九条第一〇号より第一四号までの事項を常議員会に委任する件及び第四号議案、国鉄宇都宮鉄道管理局誘致に関する件等も満場異議なく可決確定した。

新役員は次の通り。

○会 頭 上野 小七

○副会頭 保坂 正七、小林 洋、河合長一郎

高橋 栄作

○専務理事 藤生善之助

○常議員 石海勇次郎、小保方光三、粕谷松一郎

田辺 正平、上野 美治、渡辺 愛司

矢野 秀男、柳田 広、福田 昇

福田 新一、福田富次郎、小花 末吉

荒牧春三郎、荒川善次郎、青木 源吉

渡辺 俊、箕輪忠次郎、設楽 高治

鈴木 善助、小平藤十郎

○監 事 横倉 良夫、笠原正一郎、福田松兵衛

○顧 問 宇都宮市長、下野新聞社長、栃木新聞社長、横倉正吉、飯島 守、野沢英一

新議員の御紹介

二 号 議 員

六月一日各部会が部会員のうちから夫々割当員数の議員を選任した定数二四名の二号議員は次の通り。

井出 英次 (再、西原町六八〇 富士重工業(株)宇都宮製作所長)

石海勇次郎 (再、江野町三一〇一 (協)宇都宮専門店

会理事長)

渡辺貞一郎 (再、西原町三三四五 渡貞製菓(株)社

長)

渡 辺 俊 (再、大谷町一〇七五 大谷石材協同組合

理事長)

笠間盛一郎 (再、大工町四七四 (資)常陸屋商店代表

社員)

柿沼 克巳 (新、石町八八〇 宇都宮観光自動車(株)

社長)

米津 正一 (再、下平出町九五〇 パインミンシ製造

(株)社長)

横倉 良夫 (再、大町一二〇 (株)横倉本店社長)

田辺 正平 (再、池上町三〇四一 宇都宮食販(株)社

長)

中島 勇三 (新、河内村白沢五九二 高崎製紙(株)日

光工場工場長)

上野 美治 (再、大工町四九二 (株)上野美治商店社

長)

植木 芳太郎 (新、塙田町二五九 栃木マツダ販売(株)

代表取締役)

柳 田 広 (再、松峰町一一四九 (協)宇都宮優良店

会理事長)

的場 五郎 (再、鉄炮町三二二七 東京電力(株)栃木支店長)

福上貞一 (新、馬場町三一八〇 織維業)
 福田三男 (新、川向町七四八 宇都宮旅館協同組合)
 小平藤十郎 (再、大工町四四四 小平肥料(株)社長)
 荒井祐治 (再、宿郷町三字都宮製紙(株)代表取締役)
 荒川善次郎 (再、西原町二八八五 栃木トヨタ自動車(株)専務取締役)
 齋藤五一 (新、上河原町五三八 宇都宮金物商協同組合理事長)
 坂井敏雄 (新、鉄炮町三二二五 (有)春日屋商店代表取締役)
 木村明 (再、旭町一の三四二七 宇都宮青年会議所理事長)
 箕輪忠次郎 (再、大工町四四八 (株)箕輪商店取締役)
 設楽高治 (再、新宿町四一〇 北関水産荷受商業(協)専務理事)

一 号 議 員

投票によつて会員のうちから選挙する一号議員については、立候補者が一号議員の定数を超えなかつたので六月四日投票を行わないで次の立候補者三名を当選人と定めた。

飯塚末吉 (再、一条町二二七 栃木ダイハツ自動車(株)取締役会長)
 岩田敬 (再、本郷町二八二九 調東書齋(株)代表取締役)
 橋本正雄 (新、宮島町二二三 (株)橋本商店社長)
 岡川菊造 (再、橋田町二八一 岡川貨物自動車(株)社長)
 小保方光三 (再、一条町一一五六 (有)小保方魚店代表取締役)
 小倉鉄蔵 (新、川向町七四六 (株)小倉屋社長)
 渡辺長造 (新、宿郷町八六 (株)渡辺商店社長)
 渡辺愛司 (再、宮島町二一七 渡辺建設(株)取締役会長)
 渡辺清太郎 (再、池上町三〇三六 (株)大山商店第一営業所取締役所長)
 笠原正一郎 (再、築瀬町五の六一〇 (有)笠原商店社長)
 亀田豊房 (再、池上町三〇二〇 (株)亀田書店代表取締役)
 粕谷松一郎 (再、大町一五四 農芸種苗百貨)
 田中精次 (新、池上町二九九八 (株)田中本店社長)
 田野辺藤一郎 (新、挽路町一五八五 栃木県青果荷受(株)代表取締役)
 竹石丑松 (再、大町九一 (有)竹石紙店社長)

中里八郎 (新、今泉町八の四三一 中八製菓(株)代表取締役)
 薄井留松 (再、元石町九二八 宇都宮青果物商組合顧問)
 野中辰吉 (再、小袋町五九六 (有)山丸魚市場代表取締役)
 野沢卯三郎 (新、中河原町一〇二三 マルウ製菓(有)代表取締役)
 黒崎弘 (新、大工町四七五 (有)黒崎薬局社長)
 山口浪四郎 (再、今泉町七三四 (有)山口商店代表取締役)
 増淵良吉 (新、鉄炮町三二二〇 マスブチ運動具(株)社長)
 福田富次郎 (再、江野町三一二三 (有)富貴堂パン店代表取締役)
 福田俊次 (新、宿郷町三一 福田木材(有)社長)
 福田新一 (再、小袋町六一二の四 松屋製粉(株)社長)
 小花末吉 (再、元石町九二五 小花塗装(株)社長)
 江田正助 (再、二条町一二三三 (有)金仲商店代表取締役)
 青木源吉 (再、馬場町三一八四 馬場町商業部会長(金物商))
 安久都忠徳 (再、上河原町五五七 (株)安久都商店社長)
 秋元弥作 (新、川向町六五六 (株)秋元薬局社長)
 坂本久吾 (再、大工町四九五 栃木県青色申告会連合会長・眼鏡商)
 見当邦雄 (再、宿郷町九八 (有)栃食代表取締役)
 篠崎一郎 (再、馬場町三一九八 (有)山木屋洋品店社長)
 杉本博 (新、新宿町四〇六 (株)池田屋商店代表取締役)
 鈴木善助 (再、四条町一四四〇 火災保険代理店(業))
 鈴木良一 (再、上河原町五六八 (株)鈴木商店社長)

三 号 議 員

六月六日既に決定した一号議員及び二号議員が選任した詮衡委員九名によつて定数一〇名の三号議員が次の通り選任された。

坂正七 (再、川向町七四五 関東自動車(株)社長)
 河合長一郎 (再、大工町四四一 宇都宮信用金庫理事(長))
 高橋栄作 (再、旭町二の三四四五 (株)宇都宮青果市場社長)

行事	期日	場所	説明
九州一周アベック旅行御招待 福引大売出し	会期中	市内各参加店	アベック御招待 千葉海岸すたて御招待 科学博覧会御招待
ぼんぼり点灯	八幡山公園	八幡山公園	ぼんぼり点灯の外 八日野外映画会 九日日本舞踊 十日素人のど自慢大会等
昭和通り さくら祭	昭和一帯	昭和一帯	昭和一帯 十日素人のど自慢大会等
花まつり市民大会	八日	市中行進 スタートルツセ	稚児行列後 灌仏法要、余興等
宮音頭大会	九日	市中行進及 外劇場	宇都宮民謡普及宮の 会三〇名参加及び野 市内敷方所及び野 劇場で踊る
御成婚記念 吹奏楽大会	十日	市中行進及 び野外劇場	吹奏楽一四団体、コ ーラス三団体参加
花屋合引出し 手古舞及び木や り行進	十日 十一日	市中行進 野外劇場	アサヒ、タカラの四 種飲み当一等賞品 ビール一打
ビール飲み当大会	十一日	野外劇場	アサヒ、タカラの四 種飲み当一等賞品 ビール一打
素人めい人大会	十一日	市中行進	歌謡曲、民謡、浪曲 のど自慢
花見道中	十二日	市中行進及 び野外劇場	八団体二〇〇名参加 行進後八幡山にて舞 踊
モデル撮影会	八幡山公園	八幡山公園	
日本鶏展示会	二荒山神社	二荒山神社	展示・即売
全国柔道選手権 関東七県予選会	スタートルツセ	スタートルツセ	
春の料理講習会	十三日	栃木会館	講習の外試食会

本年のさくら祭は丁度同時期(四月十日)に当つた皇太子殿下御成婚の盛儀に対し謹んで慶祝の意を表する諸行事の計画を樹て左記の通り賑やかにとり行われた。

さくら祭 無事終了

四月八日〜十四日

皇太子殿下御成婚記念

- 中村 堯 (再、宿郷町一〇五 日本通運(株) 宇都宮主管支店長)
- 上野 小七 (再、相生町二(株) 上野百貨店社長)
- 矢野 秀男 (再、一条町一六三 東野鉄道(株) 専務取締役)
- 福田 昇 (再、馬場町三一九五(株) 足利銀行宇都宮支店長)
- 福田松兵衛 (再、尾上町三二八八 栃木県酒造組合理事)
- 小林 洋 (再、埴田町四〇五 栃木県中央食販(株) 社長)
- 荒牧春三郎 (再、宮島町二四一 宇都宮市商店街連盟 会長・金物工具商)

15 おうむの歌くら 十四日 スタートルツセ ラジオ東京録音

尚右行事については計画より終了に至るまで一方ならぬ御指導と御協力を賜りました市当局及商工課の皆々様、荒牧商店街連盟会長に対し、又委員として係職員を奮励指導して下さつた左記当所議員諸公に対し厚く御礼申し上げます。

第三回法人税申告書の書き方講習会・開催

主催 宇都宮商工会議所
宇都宮法人会
宇都宮市

- 一、とき 四月十六日、十七日、二十日、二十一日、二十二日の五日間 午後六時より八時まで
- 一、ところ 当所第一会議室
- 一、講師 宇都宮税務署係官

受講者六〇人、五月の申告期に備え講師より懇切な書き方指導を受けた。

当所常議員会・開催

- 一、とき 四月二十日午後二時
- 一、ところ 当所第一会議室
- 一、出席者 上野全頭、小林副会頭、小保方、粕谷、小花荒牧、荒川、鈴木(善)各議員、本人出席八名 外委任状提出八名
- 一、議案
 - 選挙委員選任の件
 - その他(二階ならびに屋上修理の件、外)

選挙委員は左記一〇名に決定(略敬称)

高田 運平	長瀬 清治	坂井 敏雄
斎藤 芳一	田野 芳郎	鶴見 銀一
瀧川 元達	高島 万衛	安中 房司

斎藤 要助

第一回計算尺使い方講座・開講

主催 宇都宮商工会議所
日本商工会議所
宇都宮市

- 一、とき 四月二十五日・二十六日
- 一、ところ 初級午前中 中級午後
- 一、講師 日商計算尺技術委員 杉浦次郎先生
- 一、受講者 一〇九人

商工業の計算事務に必要な性を認められて来た計算尺の正しい使い方と技術の普及のため、標記講座を開いた処意外な反響を呼び盛会であつた。殊に当所では受講料、テキスト代共無料とした外、練習用計算尺を多数用意して無料貸与の便を図つたので受講者に喜ばれた。

新規加入(又は復活)会員の御紹介

但し 二月一日より
四月十五日までの分

中河原町	藤井幸雄	旅館
清住町	(有)山新産業	電機器具
川向町	(株)秋元薬局	薬局
戸祭町	バスキングプロック工業(株)	プロック製造
雀宮町	(株)荒川喜三郎商店	肥料米麦
上河原町	(有)池田屋商店	靴用品卸
大工町	(株)折長商店	菓子卸
泉町	(有)さのや	飲料
川向町	鈴木(株)	服地ボタン
泉町	(有)橋本ラジオ商会	電機器具
大工町	但馬屋・吉田清一	落花生
大寛町	館沼要作	干瓢
江野町	(有)オギノ	飲食
中戸祭町	旭食品(株)	佃煮
川向町	(株)林商店	既製服
堀田町	(有)瀬野尾商店	自転車
大工町	(有)黒崎薬局	薬局
西原町	(株)坂本石材店	大谷石
西大寛町	鹿山綱朝	洋服
大寛町	猪俣宏吉	帯
小袋町	白河屋・小森 明	干瓢細工
清住町	(株)土屋商店	薪炭
西原町	(有)高橋新吉商店	大谷石
河原町	日本創芸・稲川四郎	布帛玩具
旭町二丁目	小野 梅吉	ビニール製品
池上町	(有)勝見食料品店	落花生
寺町	(株)常磐相互銀行宇都宮支店	乾物
小袋町	白井浅一郎	菓子
宿郷町	鈴木茂延	印章
〃	末広商事(有)	荒物雑貨
戸祭町	(有)大和商事	観光物産
中河原町	小林晃太郎	乾物
築瀬町	(有)パイオニアフラワー商会輸出造花	揚水機
中戸祭町	荒川機械工業(株)	衣料百貨
曲師町	(株)むぎくら	茶
本郷町	(株)田野茶舗	菓子
旭町二丁目	佐藤 晃文	菓子
池上町	竹石 祐治	食料品
宝木町	新生舎・針谷正二	牛乳
睦町	日本専売公社宇都宮地方局	飲料
小袋町	清水 佐忠二	飲食
一条町	(有)水谷革店	皮革
宮島町	(株)橋本商店	缶詰
西川田町	(有)中村製菓工場	あられ
川向町	(株)大垣商店	落花生

工具と鋼材

アラマキ

Miyajimacho Utsunomiya

TEL. 3.726・6.021



西原核町 瑞穂油脂(株)
川向町 (有)つちや
精 油
飲 食

無料法律相談・開催

主催 宇都宮商工会議所
栃木県弁護士会

- 一、とき 五月三日 終日
 - 一、ところ 当所第三会議室
 - 一、講師 栃木県弁護士会々員 八名
- 相談のため来所者三〇名あり、憲法記念日に相応しく有意義な催しであった。

栃木県商工会議所連合会

会頭会議・開催

- 一、とき 五月七日 午前十時より
- 一、ところ 当所第三会議室
- 一、出席者 栃木、足利、鹿沼、小山地区、日光地区、那須、佐野、真岡各商工会議所の会頭、副会頭、専務理事
- 当所 上野会頭、小林副会頭、高橋副会頭、藤生専務理事

議案

- 第一号議案 茨城、栃木県商工会議所会頭会議提出議案に関する件
 - 第二号議案 日商事務所新設寄附に関する件
 - 第三号議案 昭和三十四年度関東地区連合会費割当の件
 - 第四号議案 その他
- 議事終了後県首脳部との経済懇談会を開いた。
県側出席者次の通り。
- 栃木県副知事 成良 一郎殿

家庭電化の

御相談は

橋本ラジオ商会



裏銀 泉町

TEL . 5529

- 同 工商労働部長 中川 光殿
- 同 振興課長 日下部 松雄殿
- 同 指導課長 篠原 正殿
- 同 観光課長 鈴木 恒殿
- 同 振興課次長 小堀 繁殿

第四回栃木、茨城県商工会議所会頭会議

一、と き 昭和三十四年五月十五日・十六日

一、ところ 茨城県潮来町

一、本県側出席者

- 栃木 片柳会頭、坂巻、上原副会頭、石川専務理事
- 那須 古田会頭、滝沢、橋本副会頭、小倉専務理事
- 足利 小林会頭、長竹副会頭、望月専務理事
- 鹿沼 大橋会頭、岩井副会頭
- 小山 国分専務理事
- 日光地区 星副会頭、君島事務局長
- 佐野 峯崎副会頭、中里専務理事
- 真岡 竹村会頭、野村副会頭、野村常議員、川田事務局長
- 宇都宮 上野会頭、藤生専務理事、小川職員

一、協議事項

- イ、国鉄両毛・水戸線の電化開通促進運動に関する件
- ロ、栃木、茨城両県観光交流に関する件
- ハ、同 交通交流に関する件
- ニ、前橋、水戸線の一級国道指定に関する件
- ホ、原研、宇都宮線新国道開設に関する件
- ヘ、其の他

以上慎重審議の結果夫々採択次の通り関係先に対し要望陳情することとなりたり六月十七日附を以つて陳情せり。

○国鉄両毛・水戸線の電化促進に関する要望書
さきに茨城県潮来町に於て開催された栃木、茨城両県商

工会議所会頭会議に於て標記両毛、水戸線の電化促進が決議されたが既に群馬・栃木両県沿線には両毛線電化促進期成同盟が結成されており、また茨城県下には水戸線電化促進運動が準備されつゝあります。

両線の電化は北関東を横断し、首都圏を循環する極めて緊要なものであつて、これが実現の暁には両毛水戸線の直結は勿論小山經由上野、水戸間の直通運行も可能になつてその効果頗る多大なものがあります。

国鉄当局に於かれてはこの実情を御明察の上両毛水戸線の電化実現に格別の御高配を賜ります様要望いたします。

記

一、両毛水戸線の電化を国鉄電化、計画線の中に編入せられたい。

二、両毛水戸線電化達成の為国鉄当局と沿線関係者との懇談の機会を設けられたい。

昭和三十四年六月

以上

栃木県商工会議所連合会

会長 上野 小七

茨城県商工会議所連合会

会長 竹内 勇之助

国鉄総裁他関係者宛

○栃木・茨城交通観光交流に関する要望書

栃木、茨城両県商工会議所は前年来会頭会議を開催して両県の親善交歓に多大の成果をあげておりますが、毎会議ごとに両県を結ぶ道路の開発整備やバスの乗入れ等交通観光の交流が議題となり、本年もまた両県学徒等の為に観光科学バスの運行が提案されました。幸いにも両県乗旅協会におかれては兼ねてより極めて親密な間柄にあつて、両県交通振興の上に幾多の功績をあげておられますことはまことに慶賀の至りでありますが、この際両県交通交流の更に飛躍的な速度を加え幾多の問題を検討され、かねての懸案を達成せられて商工会議所は勿論両県民の熾烈な待望にお応え下さる様要望申し上げます。

記

一、両県乗旅協会の交流懇談会を開催されたい。

二、両県交通関係業者と旅館組合代表者との懇談会を開催し、バス乗入れや地元旅館の受入等に付き万全を期したい。

三、二の懇談会には両県観光協会代表者との参加を要請する。

昭和三十四年六月

日

栃木県商工会議所連合会

会長 上野 小七

茨城県商工会議所連合会

会長 竹内 勇之助

栃木県乗旅自動車協会会長宛
茨城県

○前橋、水戸線二級国道一級昇格運動に関する要望書

栃木、茨城両県下商工会議所会頭会議の本年度会議は去る五月十五日茨城県潮来町に開催されその際前橋、水戸間

二級国道の一級昇格の運動を起すことが決議されました。
 本件は昨年六月群馬、栃木、茨城三県知事の連名によつて政府に要望されましたが不幸にも実現に至らなかつたものでありますが、本路線が北関東を横断する最重要線であることは今更言うまでもなく最近の交通事情から見てもこれが整備強化は極めて緊要なものがあります。
 これによつて改めて本要望を三県の県民運動として強力に展開して目的完遂に努めたく貴県連合会の御賛同御協力を賜るよう御要請申し上げます。

記

- 一、前橋、水戸線二級国道の一級昇格運動を展開する為三県毎に県を中心とする期成同盟を結びたい。
- 二、三県の期成同盟によつて連合会を組織し同一步調のもとに強力な運動を推進して目的達成に努めたい。
- 三、上記一、二項の実現の為三県連合会毎に夫々各県知事に並に県議会に陳情具申したい。

昭和三十四年六月 日

栃木県商工会議所連合会

会長 上野 小 七

茨城県商工会議所連合会

会長 竹内 勇之助

群馬県商工会議所連合会長

追而本件は群馬県側の同調を得て三県当局に要望するものとせり。

○原研、宇都宮線新国道開設に関する要望書

栃木、茨城両県商工会議所は終戦直後三度に亘る交流会議を開いて全国に前例を示し、その後休息期間を置いて再び復活し本年は再開後第四年を迎えて両県の商工業振興に多大の成果をあげておりますが、去る五月十五日茨城県潮来町に開かれた会議に於て前年来懸案になつていた茨城県東海村より栃木県宇都宮市を結ぶ所謂原研宇都宮線新国道開設の促進を決議いたしました。

本路線は茨城県北部東海の原子力研究所久慈商港日立市等の鉱工業地帯と栃木県宇都宮市とを直結最短距離に結ぶ重要線であつて両県民のあげて切望するものであり幸にも、両県当局に於かれてもこれが実現の具体的方途を立案進行中であると聞及びまことに心強いものがあります。

この際これが目的達成に一步前進する方策として両県の期成運動を一新して夫々知事を中心とする全県民運動に整備強化すると共に併せて両県の連合会を組織して協力同調の上最も効果的な運動を展開せられるよう御要望申し上げます次第であります。

記

- 一、原研・宇都宮線新国道の予定線確定の上速かに予算措置を構せられたい。
- 二、本路線完成まで両県毎に県を中心とする期成同盟を結び更に両県の連合同調による統一運動によつてこれを促進せられたい。

昭和三十四年六月 日

栃木県商工会議所連合会

会長 上野 小 七

茨城県商工会議所連合会

会長 竹内 勇之助

栃木県知事、県議会議長宛

第十回和文タイピスト技能検定試験・施行

標記検定は五月十日(日)午前十時より栃木県庁文書課
 浄書室に於て受験者十一名を以つて施行した。

合格者氏名次の通り。

- 一級 浜崎カツ子 県庁文書課
- 〃 古川 和代 〃
- 二級 飯島 陽子 〃
- 〃 〃 〃
- 四級 桑川 悦子 〃
- 〃 〃 〃 以上

宇都宮中小企業従業員
退職金積立組合・設立

中小企業の従業員が将来に不安を抱かず安心して働けるよう退職金積立制度を確立することは、事業主にとり優良従業員を確保し、能率を増進して事業繁栄への道となるので、当会議所は宇都宮市の協賛と宇都宮労働基準監督署の御指導を得て事業主のために退職金積立事務を代行する標記組合を次の経過により設立致しました。

説明会・開催

四月六日 於当所第三会議室

出席者 岡本商工課長、上野会頭、荒牧商業部会長、藤生専務理事、外業者代表三〇名

創立総会

- 一、とき 五月十一日午後二時より
- 一、ところ 当所第一会議室

宇都宮銀行会

(以下いろいろは順)

日本勧業銀行宇都宮支店

支店長 大場 一夫

TEL 四二五一(代)

日本信託銀行宇都宮支店

支店長 石野 省吾

TEL 七一九一(代)

第一銀行宇都宮支店

支店長 木原 通雄

TEL 四二七一(代)



一、來賓 石綿宇都宮労働基準監督署長
 諏訪栃木県労政課長
 同 吉 羽 係 長
 市商工課長代理萩原係長

一、議 案

- 第一号 規約審議の件
 - 第二号 役員選任の件
 - 第三号 昭和三十四年度事業計画及び収支予算審議の件
 - 第四号 経費の賦課徴収方法の件
 - 第五号 預入金融機関指定の件
- 右議案は何れも円満裡に可決した。
- 当日の加入者(事業主) 九二人、従業員数四八九人
 主なる決定事項
 一、従業員一人につき毎月二〇〇円づゝ積立てる。(事業主負担)

- 一、右積立金は協和銀行宇都宮支店が集金する。
 - 一、理事長は上野小七氏(宇都宮商工会議所会頭)で事務は当商工会議所で取扱う。
 - 一、諸経費は当商工会議所その他の寄附金等で賄い、会員よりは徴收しない。
 - 一、会員の資格は当会議所管内の中小企業者であればよい。
 - 一、この組合及び事業は「中小企業退職金共済法」による事業団が設立された上はこれに切替える。
- 五月末日現在の加入者
 一、二三人、従業員数六七七人
 尙未加入の方は御遠慮なくお申込下さい。
 お仲間入りを歓迎します。

第十三回国民珠算競技大会・施行

五月十七日(日)東京神田駿河台中央大学講堂に於て開催された第十三回国民珠算競技大会は、全国より選出された精鋭により熱戦を展開、盛大裡に行はれた。

それより先、四月二十六日宇都宮商業高等学校で栃木県予選が行はれ、これを通過して本大会に進出した本県勢は「そろばん栃木」の名に背かぬ好成績を挙げた。

当会議所関係者の入賞成績次の通り。

- 一、都道府県対抗競技
 - 準優勝 栃 木 県
- 二、団 体 競 技
 - (1) 一 般 の 部
 - 三等一席 平山珠算学校チーム
 - (2) 学 生 の 部
 - 二等二席 宇都宮商業高等学校Aチーム
- 三、個 人 競 技
 - (1) 一 般 の 部
 - 二等 大森 瞭子 東野鉄道株式会社

群馬銀行宇都宮支店
 支店長 小 倉 武 雄
 TEL 七一八一(代)

富士銀行宇都宮支店
 支店長 長 谷 川 正 富
 TEL 五二七一(代)

足利銀行宇都宮支店
 支店長 福 田 昇
 TEL 四二三一(代)

協和銀行宇都宮支店
 支店長 岡 卓 二
 TEL 八一七六(代)

- 三等 鈴木 祥子 協和銀行宇都宮支店
- 三等 倉田紀代子 住友生命栃木支社
- 三等 松田 将子 築瀬珠算学校
- 三等 高梨 和子 栃木相互銀行
- (2) 学 生 の 部
 - 二等 渡 辺 周 司 宇都宮商業高等学校
 - 二等 小川宣太郎 〃
 - 三等 野口 勝代 陽北中学校
 - 三等 岩 瀬 隆 保 〃
- 四、種 目 別 競 技
 - 読上暗算競技 (一般の部)
 - 二等 鈴木 孝 育 商工中金宇都宮支所
 - 二等 大森 瞭子 東野鉄道株式会社
 - 読上暗算競技 (学生の部)
 - 二等 岩 瀬 隆 保 陽北中学校 以上

経済懇談会・開催

一、と き 五月二十六日午後五時
 一、と ころ 当所二階ホール

主催 宇都宮商工会議所
 宇都宮市商店街連盟
 宇都宮青年会議所

横川知事、佐藤市長、市内選出県議、市議会議員各位の当選祝賀を兼ね経済懇談会を開いた処、出席者二〇〇名、稀に見る盛会であつた。

来賓 横川知事、佐藤市長
 大湖、小池、稲葉、大野、五月女、大塚各県議会議員

末永、若目田、石浜、吉沢、枝村、大湖、宮島、梶、寺内、嶋原、青木、黒後、石川、坂本、大島、駒場、高橋、渡辺、江俣、大田和、設楽、大垣、芝田、螺良、釜井、岡本、安納各市議会議員

当所常議員会・開催

- 一、とき 五月三十日午後一時
- 一、ところ 当所第三会議室
- 一、出席者 上野会頭、小林、高橋各副会頭、石海、小保方、粕谷、福田(新)、福田(寛)、荒牧、荒川青木、鈴木(善)各常議員
- 一、議案
 - 各部会に対する二号議員員数割当の件
 - 一、員数割当決議
 - 商業部会 一四名、工業部会 六名、金融部会割当なし、交通運輸部会 三名、文化部会 一名、計二四名
- 一、報告事項 当所商業活動調整協議会委員会開催の結果報告の件

栃木食糧事務所、当所二階ホールに移転

農林省栃木食糧事務所は新庁舎建築のため五月二十九日事務所を当所二階ホールに移した。
新庁舎の建築竣工まで向う六ヶ月間の予定。

御入会のおすゝめ

本年中に**商工名鑑**発行を計画しております。未加入の方にはこの際至急御入会をおすゝめ致します。御同業の方々や御近所の方々をお誘い合はせ御一緒に御入会下さい。

年間会費 個人 一口 七〇〇円
法人 一口 一、四〇〇円

(特定商工業者負担金年額五〇〇円と右の会費とは別ですから為念)

商業従事者実務通信講座好評

右通信講座は前号ニュースに掲載の通り受講申込者は割



店 食の洋 格的な 本格的な

落ち着いた優雅な
雰囲気ぜひ一度
ご試食下さい
出前いたします

和光

グリル

字都宮オリオン通り
TEL 5628

当突破の盛況を示し、四月より配本されているが記事内容がすぐに役立つものばかりなので好評を博しております。その後の(四月、五月分)受講被許可者は次の通り。

- | | |
|-----------|-----------|
| 郷間 商店 | 郷間 恒男 |
| 渡 清 本店 | 渡 迎 清一郎 |
| 朝倉 本店内 | 永 塚 貞雄 |
| 宮 下 商店 | 宮 下 亀四郎 |
| 現代屋 本店内 | 菊 地 利雄 |
| 熊谷 百貨店内 | 小 林 才之 |
| 〃 | 岡 田 寛 |
| 栃木マツダ販売内 | 植 木 芳太郎 |
| 足利銀行伝馬町支店 | 金 田 光平 |
| 〃 | 一 条 町 支 店 |
| 〃 | 吉 沢 丹 吾 |
| 〃 | 長 康 雄 |

なお現在でも当会議所で申込みを受付けておりますからどうぞ。

日商だより

第五十二回日本商工会議所常議員会

日時 昭和三十四年四月二十四日午後一時より
会場 京都商工会議所
会議内容

- 1. 報告事項
 - 一、昭和三十四年三月業務概要報告
 - 二、その他
- 2. 協議事項
 - 一、委員会に関する件
 - 二、事務規則改正に関する件
 - 三、議員総会への提案事項
 - (イ) 専務理事及び理事選任の件
 - (ロ) 常議員選任の件
 - (ハ) 経済政策委員会よりの提案事項
 - (ニ) その他
 - 四、その他

第五十三回日本商工会議所常議員会(新議員によるもの)

日時 昭和三十四年四月二十四日午後四時より
会場 京都商工会議所
会議内容

- 1. 報告事項
 - 一、昭和三十四年三月業務概要報告
 - 二、その他
- 2. 協議事項
 - 一、顧問および参与委嘱の件
 - 二、その他

第五十四回日本商工会議所常議員会

日時 昭和三十四年五月二十日午後一時より
会場 東京会館別館二階会議室

出席 当会議所より藤生専務理事出席
 会議 内容

1. 報告事項
 - 一、昭和三十四年四月業務概要報告
 - 二、AA経済会議に関する件
 - 三、本年度職員研修会の件
 - 四、その他
 2. 協議事項
 - 一、委員会委員委嘱の件
 - 二、商工会に関する件
 - 三、その他
- 因に当会議所は右協議の結果、中小企業委員及び産業教育委員を委嘱された。

日商シリーズ刊行のお知らせ

- 一、最低賃金法逐条解説（刊行済） 一部 五〇円
- 一、小売商業調整特別措置法解説（刊行中） 四〇円
- 一、中小企業退職金共済法解説（〃） 未定

希望者は当会議所にお申込み下さい。お取次致します

最低賃金法の巡回説明会を

左記により実施致します

- 七月十日より実施のこととなつた最低賃金法は事業主として必ず知らなければならぬ法律です。商店街または協同組合の皆様、御一緒に監督官より説明を聞きましよう。
- 一、実施期間 六月から十一月まで
 - 一、実施方法 商店街または協同組合単位
 - 一、講師 栃木労働基準局担当係官
 - 一、費用 無料
 - 一、申込場所 当商工会議所

日本で始めての
マジックドアー

食料満店
 味のデパート

場堂ン菜
 宴会食
 堂菓子惣
 特別好洋和食
 特別好洋和食

3階 特別食
 2階 お好堂
 1階 和菓子
 地階 和食

マスキ

TEL 5455・5456・5457

〇当所、宇都宮中小企業相談所の定期相談日

種別	日時	担当
税理、経営	毎週火、水、木、金曜	宇都宮税務研究会 所属税理士
発明（特許、意匠等）	毎月第一金曜	弁理士 堀田健蔵先生
法律	毎月第一土曜午後	栃木県弁護士会会員
金融	毎日	当所、専門相談員
商取引斡旋 信用調査	毎日	〃
商店診断	随時お申込み下さい	〃 または県商工労働部 振興課

以上、何れも秘密を守り、無料で親切にお取扱いしております。殊に本年四月から専門相談員を一名増員してサービスに万全を期しておりますからドシ／＼御利用下さい。その外随時、中小企業者のために有益と認められる事柄の説明会、講演会や講習会を開いております。

- なお昭和三十三年度中の相談件数は次の通りでした。
- | | | | |
|-----|------|----|--------|
| 税務 | 三〇九件 | 経営 | 二四九件 |
| 発明 | 八三件 | 法律 | 六〇件 |
| 金融 | 七八九件 | 取引 | 四七七件 |
| その他 | 一二四件 | 合計 | 二、〇九一件 |

事務局だより

- 四月 一日 栃木県商工労働部長 中川晃氏、同指導課長 篠原正氏、新任挨拶に来所
- 〃 〃 栃木県商工労働部振興課長大谷氏、同振興課次長竹内氏、栃木県職業訓練所長山本氏転任挨拶に来所
- 〃 〃 栃木県弁護士会会長小林半四郎氏、同副会渾木野政治氏新任挨拶に来所
- 〃 〃 桐生商工会議所主事小泉清吾氏「商工業設備改善資金貸付」の件につき来所
- 二日 鉄道貨物協会宇都宮支部幹事会上野会頭出席
- 三日 関東商工会議所連合会幹事会（横浜商工会議所に於て）に藤生専務理事出席
- 〃 〃 発明相談開催、堀田先生
- 〃 〃 栃木県商工労働部振興課長日下部松雄氏新任挨拶に来所
- 四日 栃木新聞社創刊十周年記念式典（栃木会館に於て）に上野会頭、藤生専務理事出席
- 〃 〃 無料法律相談開催午後一時より（石川先生）
- 五日 河合副会頭ヨーロッパ経済視察のため国鉄宇都宮駅発十二時五十二分にて出発 上野会頭藤生専務理事、各議員職員見送りす

- 六日 宇都宮市議会議員と当会議所議員との合同さくら祭行事打合せ会開催
佐藤市長、古沢助役、木島経済部長、岡本商工課長、田辺、大田和、大塚、大垣、枝村、野沢各議員出席 会議所より上野会頭外多数議員出席
- 〃 宇都宮中小企業退職金積立組合設立説明会開催（別掲の通り）
- 七日 栃木県機械工業同志会従業員永年勤続者の表彰式（当所に於て午後一時より）に会頭代理にて藤生専務理事出席
川治温泉ホテル（日光地区商工会議所会頭の高橋氏経営）新築落成式に上野会頭出席
宇都宮電話局庶務課長牧信哉氏、関東電気通信局経営調査室関口賢次氏、山田亮之助氏所用のため来所
- 〃 〃
- 八日～十四日 皇太子殿下御成婚記念さくら祭開催
- 九日 栃木県木工芸振興会定期総会並びに研究懇談会に上野会頭出席
宇都宮市中小企業互助会貸付審査委員会開催（当所に於て）藤生専務理事出席
工場誘致用務にて藤生専務理事静岡県島田市出張
木工機械美演展示会が十二日まで栃木県工芸指導所に於て開催された（栃木県商工会議所連合会後援）
- 十五日 栃木県下各会議所に対する県費補助金増額申請書を知事宛提出
栃木県食肉環境衛生同業組合昭和三十三年年度常総会に会頭代理にて藤生専務理事出席
中小企業相談所事務監査のため振興課古河原係長及び行田主事来所
皇太子殿下御成婚記念さくら祭連合福引大売出しの抽籤会開催（当所に於て）荒牧商業部会長外二十名立会す
- 〃 〃 第十三回国民珠算競技大会細部打合せのため山田、平山、中島各先生来所
- 〃 〃 商工組合中央金庫足利出張所の開設に当り理事長北野重雄氏を囲む懇談会に藤生専務理事出席
法人税申告書の書き方講習会開催（別掲の通り）
- 〃 〃 商工組合中央金庫理事長北野重雄氏挨拶に來所
- 十七日 さくら祭福引大売出し、千葉海岸實立御招待の下調べのため千葉市生浜海岸へ出張 岡本市商工課長、大類觀光係長、荒牧商業部会長、藤生専務理事、小川職員
- 十八日 栃木県小売酒販組合連合会懇談会に会頭代理

- 二十日 宇都宮市中小企業互助会審査委員会開催（別掲の通り）
第二十六回通信記念日に当り職員永年勤続功労者並に事業成績優秀者の表彰式に会頭代理にて藤生専務理事出席
- 二十一日 栃木県内商工会議所事務局長会議開催（栃木商工会議所に於て）藤生専務理事、小川職員出席
法人税務相談開催（当所に於て）相談者十名
- 〃 〃 宇都宮市中小企業互助会審査委員会開催 藤生専務理事出席
栃木県食肉組合宇都宮支部定期総会に藤生専務理事、小川職員出席
同席に於て中小企業従業員退職金積立組合について詳細説明をなした
- 二十四日 改正工業所有権法説明会（虎ノ門共済会館に於て）に酒井職員出席 壇講
- 二十五日～二十六日 計算尺講習会開催（別掲の通り）
- 二十六日 第十三回国民珠算競技大会栃木県予選会開催（宇商高に於て）参加選手七十八名うち予選通過者二十五名
- 二十七日 宇都宮市中小工業機械設備資金融資審査会（市役所正庁に於て）に藤生専務理事出席
五月 一日 発明相談開催 堀田先生
二日 宇都宮商工会議所議員改選に当り選挙委員細部打合せ会開催（当所に於て）上野会頭、鶴見氏、長瀬氏、瀧川氏、高田氏、坂井氏、藤生専務理事出席
宇都宮米菓組合従業員退職金積立組合説明会に小川職員説明のため出張
三日 （憲法記念日）無料法律相談 開催（別掲の

優 秀 品 が

い つ も 揃 っ て お り ま す

ゆかたとプリント服地
テトロン・ナイロン製品
着心地のよいメリヤス肌着

信用と評判の店・衣料のデパート

鈴木屋

宇都宮・馬場町 TeL 3456・7890

今後の中小企業対策

通産省では五月二十七・二十八日の両日都道府県商工関係部長会議を東京で開催したが、席上岩武中小企業庁長官が「今後の中小企業対策について」現在検討中のものについて挨拶した。その要旨は次のとおりである。

一、零細企業対策の推進

零細企業対策は、社会保障対策による補完は必要であるがその大筋は産業対策であるべきで企業の経済性を高める点に重点をおくこととし、その対策の第一は商工会の法制化である。商工会については何を如何なる組織にするか問題であるが、一〇人または二〇人以下という零細企業の組織体として、相談所・指導所を一体化した業務を行うものと考えていきたい。出来得れば次の通常国会において実現させたい。

次に企業組合も、現在より小規模のものとして零細企業対策の対象としてその設立を促進していきたい。

小口金融の制度は、現在整備されており税制も零細企業対策にはあまり問題はないと思われるので、今後その組織と共同施設の助成が最も必要であると考えられる。

二、業種別振興目標の設定

今後の対策の第二として、業種別ないし業態別に振興の目標を設定していることを検討している。

現在一部製造業については、近代化資金を受け入れて設備の近代化計画を進めているが、さらに広く経営の在り方、技術、販路、下請関係等を取りあげて振興目標を設定したいと考える、とくに商業関係、例えば産地の間屋制度等の問題、また行田の足袋などの転換産業等についても夫々困難な問題があるので、その振興目標もその業種々に振興目標を設定していきたい。

振興の目標を達成するためには、大企業との分野調整官公需の確保等の手段を講じたいが、これらは相当困難な問題であるので現在検討を進めている段階である。

なお先の国会で制定された最低賃金法、中小企業退職金共済法については、いづれも直接的には中小企業従業員の福祉の増進を図らんとするものであるが、今後の中小企業対策としても重要なものを含んでいる問題もあるのでこの法律の運用については、関係中央官庁および中小企業団体、通産局とも十分連絡をとりながら運用の方向を検討し、中小企業の実情に即した運用を図るよう特別の配慮をお願いしたい。

商店経営セミナー

通信講座面接指導

「商店経営セミナー」は日商が日本生産性本部、日本経済新聞社および開催地商工会議所の共催で一昨年度から二回にわたって全国的に実施してきたものである。このセミナーは中央から開催地会議所に講師を派遣し、商業者に対し商業経営の合理化、近代化の方法について指導し、現在の困難な商業問題の解決に資せしめようとするものである。

二回にわたる実施の結果はきわめて好評であったので、本年度も引続きその第三回を実施することになったものである。

「商業従事者実務通信講座」は日商が各地商工会議所と共同で四月一日から実施しているもので、全国の商業従事者その他に対し、通信教育の方法により、六ヶ月間で商店経営および商店勤務上必要な商業実務その他を判りやすく教授して、商店経営の合理化、近代化に役立たせようとするものである。

指導方法の中心になるのは、受講者に対し毎月一巻ずつ配布される「テキストによる指導」であるが同講座ではこのほかに指導方法として「質疑応答」「面接指導」および「設問解答」の三つの方法をとっている。

「質疑応答」というのは、受講者の質問に対して日商で応答を行うことをいい、「面接指導」というのは、日商から開催地会議所に対して講師を派遣して受講者を直接指導することをいい、「設問解答」というのは、日商から受講者に対して問題を送付し受講者がこれに解答することをいう。そして解答成績の良好な者に対して修了証書が与えられることになっている。

「質疑応答」はすでに実施しているが「設問解答」はそれぞれの受講者の受講期間終了後に実施するもので、したがってまだ実施されていない。今回は「面接指導」を実施しようというわけである。なお、日商では一流の商業学者および商業実務家に「テキスト」の監修および執筆を依頼しており、受講者数は現在約八千名に達している。

ところで日商では「セミナー」および「面接指導」を合理的に実施することについて検討をかさねてきたが、この程、栃木県については当会議所との共催により左記の通り実施することになった。

記

「すぐに役立つ商店経営セミナー」及び「通信講座面接指導」

一、開催日時 七月二十九日（水曜） 午後一時～五時三十分

一、会場 当商工会議所

一、演題と講師

「新しい商店経営」 早大教授 原田俊夫先生

「販売促進のアイデア」 いせき会々長 井関 純先生

一、受講料 無料

以上

原田先生は米國ミシガン大学に交換教授として渡米したこともあり、常に新しい商店経営法を研究されている斯界の権威です。又井関先生は一流の実業家であるとともに店舗設計や仕入販売に関する実地研究者として定評のある方です。

◎当日は受講者多数の見込ですからお早目に御来場下さい。

編集後記

本号は六月十日頃発行すべきだったが五月下旬から六月中旬まで続いた当所議員、役員選挙の関係ニュースを掲載するため発行を延ばした。ところがその後何や彼や多忙のため遂に月を越してしまつたことをお詫び致します。